

「地域計画・目標地図の策定に向けた話し合いを行った」

京都府 向日市農業委員会

1 農業委員会の体制と市町村行政との連携状況

○ 農業委員	:	16名
○ 農地利用最適化推進委員	:	0名
○ 事務局職員	:	4名
○ 関係団体（名称のみ）		
○ 市町村行政との連携状況		
市担当課が事務局を兼務している。		



2 地区の特徴、状況、課題

○向日市は三方を京都市に囲まれ、面積が7.72km²と西日本一コンパクトな地域である。
○水稻をはじめ、タケノコ、野菜、花きなど多様な農業が営まれている。
高齢化による担い手の不足だけでなく、地区計画による開発に伴い、農地が減少している。

3 委員による継続した話し合いの取組内容

○話し合い当日は、農業委員を含む地域の主な担い手の農業者15名が参集。
○市から「地域計画」の概要説明を受けた後、目標地図に位置づける農地について意見を交わした。
○農業者の高齢化が進んでおり、今後の農地の維持管理について意見を交わした。

4 成果（地域計画の実行に向けた取組内容）

○目標地図に位置づける農地については利用権設定を行っている農地を中心に検討していくこととする。
○現状、耕作が行われていない農地は無いが、将来を見据えた営農の継続を目指していく。

※事例候補（地区連絡会議の単位が望ましい）の選定や作成にあたっては、農業会議の現地推進役と相談してください